

○計画期間:平成 28 年 4 月～令和 3 年 3 月(5 年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成 30 年度終了時点(平成 31 年 3 月 31 日時点)の中心市街地の概況

本市は、認定基本計画において「質の高い地域資源を活かし、選ばれるまちに～にぎわいと郷町（まち）の活力（ちから）を未来（このさき）へ～」をコンセプトとし、「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町（まち）なか」、「まちの魅力を高め、訪れたい郷町（まち）なか」、「もてなし心のある、住みたい郷町（まち）なか」という 3 つの目標を掲げている。

平成 30 年度は、ソフト事業を始めおおむね順調に進捗している。事業の取組については、「まちなか大規模イベントの開催・拡充」や複数のイベント事業の開催により伊丹の魅力や中心市街地の賑い創出を図った。また、「自転車駐車整備事業」によって通行空間の円滑化、「民間賃貸住宅ストック活用事業」などの住宅関連事業によって定住人口の増加を図った。これらの取組により、「2 軸における歩行者・自転車通行量」及び「中心市街地における居住人口」は前年度から増加し、目標値の達成に向けて順調に進捗している。

また、「文化施設利用者数」については、「図書館交流事業」や「文化施設連携事業」を始めとする主要事業の実施により、回遊性向上を図った。一方、「中心市街地空き店舗」においては、空き店舗を活用し開業する者へ一定期間家賃等の補助を行う「空き店舗出店促進事業」、創業者育成のための「創業塾を開催」し、魅力ある商業集積と空き店舗の減少を図ったものの、空き店舗数は基準値をやや下回る結果となった。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度 1 月 1 日)

（中心市街地 区域）	平成 27 年度 （計画前年度）	平成 28 年度 （1 年目）	平成 29 年度 （2 年目）	平成 30 年度 （3 年目）	平成 31 年度 （4 年目）	令和 2 年度 （5 年目）
人口	14,231 人	14,293 人	14,488 人	14,462 人	—	—
人口増減数	444 人	62 人	195 人	△26 人	—	—
自然増減数	35 人	41 人	70 人	36 人	—	—
社会増減数	(※1)61 人	21 人	125 人	△62 人	—	—
転入者数	(※1)261 人	538 人	615 人	563 人	—	—

人口・・・町字別年齢別人口より 人口増減数・・・町字年齢別人口（住民基本台帳）より

自然増減数・社会増減数・転入者数・・・行政区別異動統計表より

(※1)・・・平成 27 年 6 月以前は住基システム上、小字別の該当数値を把握していないため、平成 27 年 7 月以降よりの数値で算出したもの

2. 平成 30 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

伊丹市立図書館（ことば蔵）を始めとする特色ある文化施設の活用や、三軒寺前広場を中心とする 2 軸でのイベント事業の実施は中心市街地の活性化に寄与している。イベント事業の実施に関しては、行政や協議会が主体のもの以外でも民間主体で充実したイベントが開催されておりにぎわい創出に大きく貢献している。また、3 か年の事業進捗は概ね予定通りに実施できていることにより、目標達成に向けて着実に進んでいる。空き店舗数については進捗数値が低いものの、一定の新規出店もあるため、今後も基本計画の推進を行政、市民、事業者、商業関係者及び関係団体が一丸となって取り組み、指標全体の達成に努めていただきたい。ほかに、文化施設間の連携についてはこれまでに取組んできたところ、今後は文化施設と商業者が連携する事業を実施することでまち全体の更なる発展を期待する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町(まち)なか」	文化施設(8施設)利用者数	950,104 人 (H26)	1,146,000 人 (R2)	1,074,961 人 (H30)	B	③	③
「まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか」	中心市街地 空き店舗数	121 店舗 (H27)	90 店舗 (R2)	117 店舗 (H30)	B	②	②
	2軸における 歩行者・自転車通行量	35,719 人 (H26)	41,000 人 (R2)	41,927 人 (H30)	A	①	①
「もてなし心のある、住みたい郷町(まち)なか」	中心市街地 における居住人口	13,928 人 (H27)	15,638 人 (R2)	14,468 人 (H30)	B	①	①

< 基準値からの改善状況 >

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

< 取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類 >

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「中心市街地における文化施設（8施設）利用者数」については、基準値となる平成26年度を上回った。今後、基本計画掲載事業の実施を継続して進めることにより目標達成可能と見込まれる。

「中心市街地の空き店舗数」については、基準となる平成27年度から4店舗減少しているが、目標値より27店舗上回っている。空き店舗の発生要因として、昇降設備が備わっていない建物や老朽化が進んでいる建物などの施設環境によるものが起因しており、解消するための効果的な新規事業の実施について、実現可能性が厳しい状況である。そのため、目標値に近づけるために、空き店舗の要因分析を継続して行い、さらなる創業支援及び空き店舗の利活用、リノベーション事業の実施に向けて力を入れる必要がある。

「2軸における歩行者・自転車通行量」については、中心市街地の定住人口の増加や歩行者空間の整備効果により上昇し目標値を上回ったものであり、事業を継続的に取り組むことで目標達成が可能と見込まれる。

「中心市街地の居住人口」については、三世帯同居・近居促進事業などが一定の効果をあげ、上昇していることから、目標達成が可能と見込まれる。

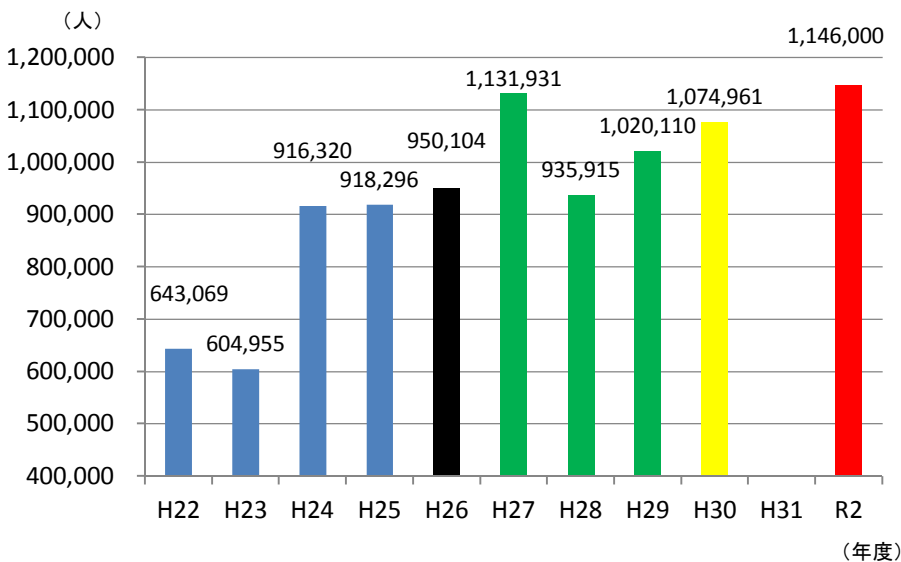
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

平成 30 年度のフォローアップについては平成 29 年度と同様である。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

①「文化施設（8 施設）利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P79～P81 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H26	950, 104 (基準年値)
H28	935, 915
H29	1, 020, 110
H30	1, 074, 961
H31	
R2	
R2	1, 146, 000 (目標値)

※調査方法：各文化施設利用者及びイベント入場者集計

※調 査 月：平成 30 年度（平成 31 年度 3 月末）

※調査主体：伊丹市

※調査対象：各文化施設（東りいたみホール、アイフォニックホール、アイホール、工芸センター、柿衛文庫、美術館、郷町館、図書館）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 図書館交流事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	図書館（ことば蔵）は、貸出サービスだけでなく、交流ゾーンを設け、市民、図書館職員による交流事業を実施し、回遊性の向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 28 年度～令和 2 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度は 259 件のイベントが催され、延べ 9,638 人の参加があったことにより、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	当該事業は基本計画認定後、イベント件数、参加者数ともに上昇している。今後も継続して交流事業を継続し、賑わいを保持していく。

②. 文化施設連携事業（いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市）

事業実施期間	平成 20 年度～【実施中】
事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施など、有機的な連携を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	引き続き文化施設等のイベントや中心市街地のイベントをまとめて掲載する案内を発行し、周辺地区の賑わい創出に貢献した。また、美術館や工芸センター、柿衛文庫の企画と連携した図書展示や交流イベントを図書館で実施した。さらに、工芸センターと飲食店がタイアップした事業を実施した。
事業の今後について	文化施設等の利用者から飲食店の情報が欲しいとの声をうけ、平成 31 年度から有料公演を行っている文化施設 3 館において、利用者が半券等を飲食店等に持って行くことで割引等サービスを受けられる連携事業を開始する。

③. 観光 Wi-Fi 整備事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 28 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	中心市街地内に公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、国内外を問わず観光客の回遊性を図る。
国の支援措置名及び支援期間	観光・防災 Wi-Fi ステーション整備事業（総務省）（平成 29 年度）
事業効果及び進捗状況	中心市街地において 11 箇所の Wi-Fi 整備事業が完了し、歩行者・自転車通行量が増加し、回遊性の向上に寄与している。
事業の今後について	整備が完了し、総アクセス数も前年度より増加しており、今後のさらなる利用促進を見守る。

④. 自転車駐車場整備事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 28 年度～平成 30 年度【済】 〔認定基本計画：平成 28 年度～平成 29 年度〕
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業効果及び進捗状況	平成30年度はあらたに機械式自転車駐車場1箇所255台が運用開始され、円滑な通行空間が確保され回遊性の向上に寄与している。
事業の今後について	計画されていた整備事業が完了した。

⑤. まちなか大規模イベントの開催・拡充（民間、伊丹市）

事業実施期間	平成10年度～【実施中】
事業概要	四季おりおりの大規模なイベントを開催することで、中心市街地のにぎわいを創出し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成28年度～令和2年度）
事業効果及び進捗状況	春の宮前まつりでは15,000人、秋の宮前まつりでは16,000人、冬の蔵まつりでは13,000人、夏のふれあい夏まつりでは15,000人、愛染まつりでは3,000人が来街され、周辺地区のにぎわい及び周辺施設の来館者数の増加に寄与した。
事業の今後について	にぎわい創出のため、事業を継続していく。

⑥. いたみ花火大会の開催（花火大会実行委員会、伊丹市）

事業実施期間	昭和56年度～【実施中】
事業概要	中心市街地に隣接する猪名川河川敷で夏の風物詩としての花火大会を開催することで、中心市街地内のにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成28年度～令和2年度）
事業効果及び進捗状況	平成30年度は約7万人の観覧客であった。また、中心市街地内の店舗が特別に店頭販売を実施するなど、にぎわい創出に寄与している。
事業の今後について	にぎわい創出のため、事業を継続していく。

⑦. 伊丹まちなかバルの開催（伊丹市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成21年度～【実施中】
事業概要	市内外から来街者を呼び込み、中心市街地内の飲食店を中心に食べ歩き・飲み歩きイベントを開催することで、回遊性の向上やにぎわいの創出を図る。
国の支援措置名	国の支援措置なし

及び支援期間	
事業効果及び進捗状況	春は 12,000 人、秋は 10,000 人が来街され、周辺地区のにぎわい及び周辺施設の来館者数の増加に寄与した。
事業の今後について	にぎわい創出のため、事業を継続していく。

⑧. 夜間景観形成事業（伊丹酒蔵通り協議会、民間事業者、伊丹市）

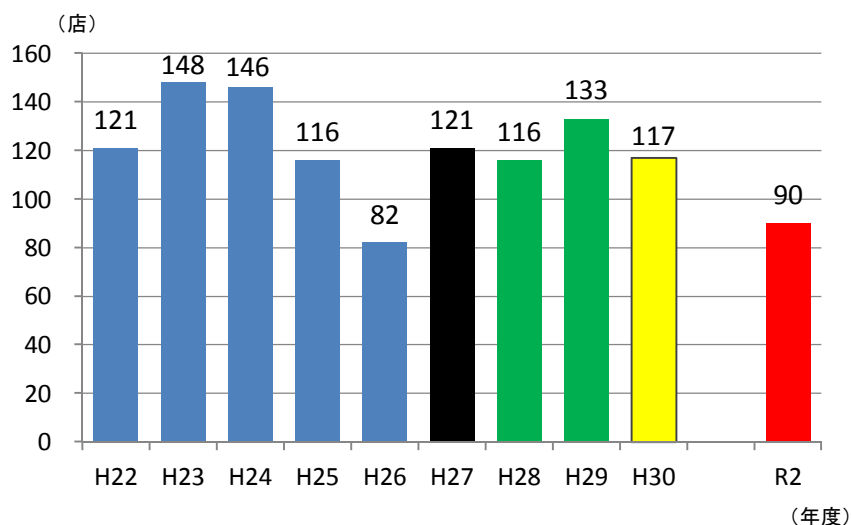
事業実施期間	平成 18 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の東西を結ぶ中央伊丹線において、沿道 3 カ所におけるライトアップや、沿道の商業者、住民が主体となったライトアップに合わせた夜間イベントの実施などを行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	秋は 10,000 人、冬は 14,000 人が来街され、周辺地区の交流人口増加に寄与した。
事業の今後について	交流人口増加のため、事業を継続していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 30 年度は上記主要事業などにより、来街者が回遊しやすい環境整備が実施されたことを活かし、主要事業を継続実施すること、さらに回遊性向上のため新たな文化施設連携事業を行うことで目標達成可能と見込まれる。

②「中心市街地の空き店舗数」※目標設定の考え方基本計画 P81～P83 参照

●調査結果の推移



年	(店舗)
H27	121 (基準年値)
H28	116
H29	133
H30	117
H31	
R2	
R2	90 (目標値)

※調査方法：中心市街地内を現地確認（視認ならびに近隣への聞き取り）

※調査月：平成30年11月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗リノベーション事業（伊丹まち未来㈱、民間事業者など）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか商業活性化支援事業（地域商業自立促進事業）（経済産業省）（平成30年度） 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（経済産業省）（平成31年度～） 商店街活性化・観光消費創出事業（経済産業省）（平成31年度～）
事業効果及び進捗状況	民間事業者等による空き店舗リノベーション事業については、現在1件の実施に向けて、調査分析事業を行っているところである。
事業の今後について	中心市街地では空き店舗を使わない新規出店もあるため、既存の空き店舗の魅力を向上させる空き店舗リノベーション事業は空き店舗解消にも寄与するため、引き続き事業実施に向けて推進していく。

②. 創業塾の開催（商工会議所）

事業実施期間	平成18年度～【実施中】
事業概要	創業準備中の方や、将来、起業を考えている方誰もが参加できる創業塾や、女性だけを対象にした女性創業塾を開催し、開業に向けてサポートし、商業の担い手を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	10月から11月にかけて創業塾を開催し、受講者数は前年度より11名増の26人が受講され、創業の促進を図った。
事業の今後について	継続して実施している事業であり、次年度以降も創業をサポートし、さらに中心市街地での創業を促進していく。

③. 空き店舗出店促進事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 28 年度～令和 2 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度は 1 件の申請があり、空き店舗が 1 件解消された。
事業の今後について	空き店舗出店促進事業は年々利用実績が低下しているため、更なる情報発信を進め、さらなる活用を促進する。

④. チャレンジショップの開催（伊丹市中心市街地活性化協議会など）

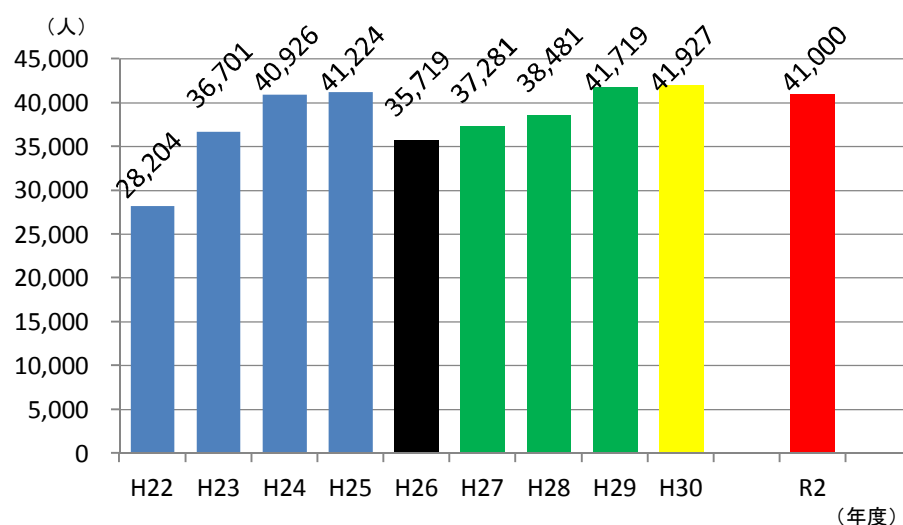
事業実施期間	平成 20 年度～【未実施】
事業概要	商店街などの空き店舗、空きスペースなどを利用して、起業を考えている方等に情報提供し、安い家賃で一定期間を決めて試験的に貸し出すことにより、空き店舗対策を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	チャレンジショップの実施にあたって、効果的な立地スペースと家主との意向がマッチングする対象地を検討している。
事業の今後について	実施に向けて、今後も検討を継続していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 30 年度は、空き店舗出店促進事業の利用による出店は 1 件であった。全体の空き店舗は 117 店舗となり、前年度と比較すると 16 店舗改善された。しかし、空き店舗が発生している物件では、老朽化や昇降設備が備わっていない建物が多く、解消に向けた効果的な新規事業を実施することが厳しい状況である。その中、創業塾の受講者数は前年度から 11 名増加しており、直近 3 年間で延べ 46 名となり、今後の商業の担い手の育成が一定進んでいる。今後、空き店舗出店促進事業の周知やリノベーション事業を継続して取り組み、創業塾について継続的に力を入れて実施及び空き店舗の発生要因や現状分析に取り組むことにより、中心市街地の商業活動を活性化させることで目標達成に向けて努力していく。

③「2軸における歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P83～P87 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H26	35,719 (基準年値)
H28	38,481
H29	41,719
H30	41,927
H31	
R2	
R2	41,000 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量を毎年10月の第2週休日に5地点において10～20時で計測。(今年度はイベント開催考慮の上、10月第3週日曜日に実施)

※調査月：平成30年10月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：中心市街地内5地点(宮ノ前商店街(図書館前)、すし善前、阪急伊丹駅東、ニトリ南側、アリオ前)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗リノベーション事業(伊丹まち未来㈱、民間事業者など) ※再掲

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口の増加を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか商業活性化支援事業(地域商業自立促進事業)(経済産業省)(平成30年度) 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性化支援事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(平成31年度～) 商店街活性化・観光消費創出事業(経済産業省)(平成31年度～)
事業効果及び進捗状況	民間事業者等による空き店舗リノベーション事業については、現在1件の実施に向けて、調査分析事業を行っているところである。引き続き事業実施に向けて推進していく。

事業の今後について	中心市街地では空き店舗を使わない新規出店もあるため、既存の空き店舗の魅力を向上させる空き店舗リノベーション事業は空き店舗解消にも寄与するため、引き続き事業実施に向けて推進していく。
-----------	--

②. 空き店舗出店促進事業（伊丹市）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街で空き店舗を使って新たに開業する方に一定期間の家賃等の補助をするなど、魅力ある商業集積を図る。また、新たな空き店舗や空き地での出店の際に支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 28 年度～令和 2 年度）
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度は 1 件の申請があり、空き店舗が 1 件解消された。通行量調査における最寄地点である阪急伊丹駅東の数値は前年度から 479 人増加しており、通行量の増加に寄与した。
事業の今後について	空き店舗出店促進事業は年々利用実績が低下しているため、更なる情報発信を進め、さらなる活用を促進する。

③. まちなか大規模イベントの開催・拡充（民間、伊丹市）※再掲

事業実施期間	平成 10 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地では、現在、春・秋の宮前まつり、夏のふれあい夏祭り・愛染まつり・冬の蔵まつりなど四季おりおりに大規模なイベントが開催されており、このイベントを他のイベントと合同で実施し、中心市街地のにぎわいへと繋げるため、更なる入込数の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 28 年度～令和 2 年度）
事業効果及び進捗状況	宮前まつりでは模擬店やフリーマーケット等の催しを実施した。また、冬の蔵まつりはダンスイベントを併せて開催するなど複数のイベントを合同で実施し、回遊性が向上した。
事業の今後について	いずれのイベントも継続して実施されている中心市街地のイベントであり、今後もにぎわいのため継続して実施していく。

④. 文化施設連携事業（いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市）※再掲

事業実施期間	平成 20 年度～【実施中】
事業概要	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）、中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリーの実施

	など、有機的な連携を図る。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	引き続き文化施設等のイベントや中心市街地のイベントをまとめて掲載する案内を発行し、周辺地区の賑わい創出に貢献した。また、美術館や工芸センター、柿衛文庫の企画と連携した図書展示や交流イベントを図書館で実施した。さらに、工芸センターと飲食店がタイアップした事業を実施した。
事業の今後につ いて	文化施設等の利用者から飲食店の情報が欲しいとの声をうけ、平成31年度から有料公演を行っている文化施設3館において、利用者が半券等を飲食店等に持って行くことで割引等サービスを受けられる連携事業を開始する。

⑤. 観光 Wi-Fi 整備事業（伊丹市）※再掲

事業実施期間	平成28年度～平成29年度【済】
事業概要	中心市街地内に公衆無線 LAN の環境整備をすることにより、国内外を問わず観光客の回遊性を図る。
国の支援措置名 及び支援期間	観光・防災 Wi-Fi ステーション整備事業（総務省）（平成29年度）
事業効果及び進 捗状況	中心市街地において11箇所の Wi-Fi 整備事業が完了し、歩行者・自転車通行量が増加し、回遊性の向上に寄与している。
事業の今後につ いて	整備が完了し、総アクセス数も前年度より増加しており、今後のさらなる利用促進を見守る。

⑥. 自転車駐車場整備事業（伊丹市）※再掲

事業実施期間	平成28年度～平成30年度【済】 〔認定基本計画：平成28年度～平成29年度〕
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	平成30年度はあらたに機械式自転車駐車場1箇所255台が運用開始され、円滑な通行空間が確保され回遊性の向上に寄与している。
事業の今後につ いて	計画されていた整備事業が完了した。

⑦. 宮ノ前2丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成28年度【済】
事業概要	区域内の近隣商業地域に11階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	宮ノ前2丁目分譲マンション建設事業が完了したことで、近隣地域の通行量の増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	なし

⑧. 伊丹3丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成28年度～平成29年度【済】 [認定基本計画：平成28年度]
事業概要	区域内の近隣商業地域に10階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	伊丹3丁目分譲マンション建設事業が完了したことで、近隣地域の通行量の増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	なし

⑨. 伊丹1丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成28年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に7階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	伊丹1丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	なし

⑩. 西台 1 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 8 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	西台 1 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	なし

⑪. 西台 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 5 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	西台 3 丁目分譲マンション建設事業が完了し、近隣地域で歩行者・自転車通行量が増加、周辺地区の賑わいや回遊性の向上に寄与した。
事業の今後について	なし

⑫. チャレンジショップの開催（伊丹市中心市街地活性化協議会など）※再掲

事業実施期間	平成 20 年度～【未実施】
事業概要	商店街などの空き店舗、空きスペースなどを利用して、起業を考えている方等に情報提供し、安い家賃で一定期間を決めて試験的に貸し出すことにより、空き店舗対策並びに通行量の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	チャレンジショップの実施にあたって、効果的な立地スペースと家主との意向がマッチングする対象地を検討している。
事業の今後について	実施に向けて、今後も検討を継続していく。

⑬. 伊丹郷町屋台村の開催（伊丹郷町商業会）

事業実施期間	平成 23 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商店主が三軒寺前広場において、夏と冬に 3 日間ずつ趣向を凝らした屋台を出店し、イベント開催による通行量の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	夏は 8,000 人、冬は 10,000 人が来街され、通行量の増加に寄与した。
事業の今後について	通行量増加のため、事業を継続していく。

⑭. アリフリ事業の開催（アリオ名店会）

事業実施期間	平成 19 年度～【実施中】
事業概要	J R伊丹駅近くでフリーマーケット等を開催することで、商店街や個店の P R、リピーターや新規顧客の獲得による来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	年 2 回開催し、J R伊丹駅周辺などの中心市街地のにぎわい創出に寄与した。
事業の今後について	通行量増加のため、事業を継続していく。

⑮. イタミ朝マルシェの開催（伊丹市中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	三軒寺前広場にて毎月 1 回日曜日の朝に飲食や物販品など魅力ある商品を販売及び野外演奏やダンス等を行うことで、通行量の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度は、年間で 10 回開催（雨天中止 2 回有り）し、3,217 人の来客数、延べ 192 店舗が参加し、周辺地区の通行量増加に寄与した。
事業の今後について	通行量増加のため、事業を継続していく。

⑯. 創業塾の開催（商工会議所）※再掲

事業実施期間	平成 18 年度～【実施中】
事業概要	創業準備中の方や、将来、起業を考えている方誰もが参加できる創業塾や、女性だけを対象にした女性創業塾を開催し、開業に向けてサポートし、商業の担い手を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	10 月から 11 月にかけて創業塾を開催し、受講者数は前年度より 11 名増の 26 人が受講され、創業の促進を図り、通行量増加に寄与した。
事業の今後について	継続して実施している事業であり、次年度以降も創業をサポートし、さらに中心市街地での創業を促進していく。

⑰. 地場野菜の朝市開催事業（JA 兵庫六甲、伊丹市）

事業実施期間	平成 19 年度～【実施中】
事業概要	シルバー人材センターによる地場野菜の朝市の開催し、中心市街地の集客の強化や回遊性の向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	毎週火曜日（お盆期間及び年末年始を除く）、計 50 回開催し、延べ 2,000 人以上の来場者があったことにより、通行量増加に寄与した。
事業の今後について	今後も中心市街地の集客の強化や回遊性の向上を図るため、継続して実施していく。

⑱. 市道中央天津線他電線共同溝整備事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	景観・バリアフリー・防災の観点から、電線類を地中化し、ひと中心の安心・安全・快適な歩行空間と自転車通行空間の創出を行う。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（国土交通省）（平成 29 年度～令和 2 年度）
事業効果及び進捗状況	設計が完了し、工事に着手し、順調に進行しており、事業終了後の通行量の増加が期待される。
事業の今後について	着手した路線の工事を完了させるとともに、新たな路線の工事に着手する。

⑬ まち衆による PR 事業（伊丹市、教育委員会、文化財ボランティア、いたみアピールプラン推進協議会など）

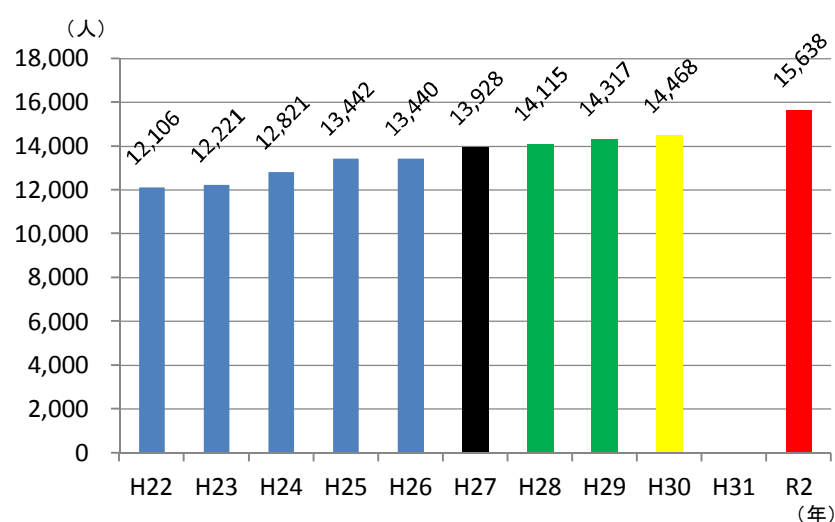
事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	市民が主体となって、伊丹固有の文化や伝統、歴史を市内外にアピールし、来街者をもてなすことにより、本市の魅力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	桜や歴史に関するウォーキングを実施し、延べ 107 人の参加があり、本市の魅力を PR することができた。
事業の今後について	引き続き文化や伝統、歴史の市内外にアピールする PR 事業を実施していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 30 年度は上記主要事業以外にも、伊丹まちなかバル・イタミ朝マルシェ・伊丹郷町屋台村・いたミーツ・アリフリ事業など複数のイベントを開催し、中心市街地の魅力創出に寄与している。これらの事業効果により通行量の値は目標値を上回ったものであるが、今後も基本計画に位置付けた事業の継続実施に取り組み、さらに回遊性向上のため新たな文化施設連携事業を行い、通行量数値への効果検証を引き続き行う。

④「中心市街地における居住人口」※目標設定の考え方基本計画 P87～P89 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H27	13,928 (基準年値)
H28	14,115
H29	14,317
H30	14,468
H31	
R2	
R2	15,638 (目標値)

※調査方法：国勢調査推計人口

※調査月：平成 30 年 10 月

※調査主体：伊丹市

※調査対象：伊丹市伊丹 1～3 丁目、中央 1～6 丁目、西台 1～5 丁目、宮ノ前 1～3 丁目

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 三世代同居・近居促進事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	三世代家族の形成を促進し、高齢者の孤立を防ぐとともに「親・子・孫の絆」の再生を図ることを目的として、子世帯の転入を促し都市力を増進させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	三世代同居・近居促進事業により、市内全体で 61 件、中心市街地で 5 件の申請で 19 人が転入され、近隣地域の人口増加に寄与した。
事業の今後について	市内への転入促進はもとより、中心市街地の居住促進のためにも継続して実施していく。

②. 民間賃貸住宅ストック活用事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	市営住宅整備基準に適した優良な民間賃貸住宅の空き家を借り上げ、市営住宅として提供する。市営住宅の公設公営から民設公営へと転換していく。
国の支援措置名及び支援期間	公的賃貸住宅家賃対策調整補助金（国土交通省）（平成 28 年度～）
事業効果及び進捗状況	民間賃貸住宅ストック活用事業については、平成 30 年度は市内全体で 66 戸、中心市街地で 9 戸の借り上げにより 11 人が居住され、近隣地域の人口増加に寄与した。
事業の今後について	既設の公設市営住宅は老朽化が進んでいるところも多いため、引き続き民設公営への転換を進めていく。

③. 宮ノ前 2 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の近隣商業地域に 11 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	宮ノ前 2 丁目分譲マンション建設事業が完了したことで、中心市街地の人口増加に寄与した。
事業の今後について	なし

④. 伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～平成 29 年度【済】 [認定基本計画：平成 28 年度]
事業概要	区域内の近隣商業地域に 10 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	伊丹 3 丁目分譲マンション建設事業が完了したことで、中心市街地の人口増加に寄与した。
事業の今後につ いて	なし

⑤. 伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 7 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	伊丹 1 丁目分譲マンション建設事業が完了したことで、中心市街地の人口増加に寄与した。
事業の今後につ いて	なし

⑥. 西台 1 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 8 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居住を促進する。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	西台 1 丁目分譲マンション建設事業が完了したことで、中心市街地の人口増加に寄与した。
事業の今後につ いて	なし

⑦. 西台 3 丁目分譲マンション建設事業（民間事業者）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	区域内の商業地域に 5 階建の分譲マンションを建設し、まちなか居

	住を促進する。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	西台3丁目分譲マンション建設事業が完了したことで、中心市街地 の人口増加に寄与した。
事業の今後につ いて	なし

⑧. (仮称) やわらぎ保育園開設 (認可保育事業) (民間事業者)

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、JR 伊丹駅周辺において認可保育事業を実施し、通勤する人の利便性に寄与することで、近隣集客拠点、まちなか居住を推進し、商業機能の底上げを図る。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	定員 60 名のやわらぎ保育園が開園したことにより、近隣地 域の人口増加に寄与した。
事業の今後につ いて	なし

⑨. (仮称) 伊丹・サン保育園開設 (小規模保育事業) (民間事業者)

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	市内の待機児童の解消を図るとともに、阪急伊丹駅周辺において小規模保育事業を実施し、子育て層のまちなか居住を推進する。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進 捗状況	定員 19 名のイタミ・サン保育園が開園したことにより、近 隣地域の人口増加に寄与した。
事業の今後につ いて	なし

⑩. 安全・安心見守りカメラ整備事業 (伊丹市)

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	全国で子どもが巻き込まれる痛ましい事件が多発していることや、平成 26 年に市内で発生した局地的豪雨等により生じ

	た被害経験から、安全。安心見守りカメラを中心市街地に整備し、防犯にとどまらず、行方不明者の捜索等に多目的に利用することで、安全・安心な街なか居住を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	中心市街地に安全・安心見守りカメラを約 40 台設置し、防犯や行方不明者の捜索に活用することで、近隣地域の定住人口増加に寄与している。
事業の今後について	平成 31 年度は中心市街地に 5 台以上のカメラの設置を予定している。

⑪. ビーコン整備事業（伊丹市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	安全・安心見守りカメラとあわせビーコン受信機を整備し、ビーコン発信機を持った子どもや認知症高齢者の位置情報を、保護者のスマートフォン等に通知するサービスを官民協働事業で実施するなど、安全・安心な街なか居住を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	中心市街地に約 40 台設置しているカメラにビーコン受信機を設置し、官民協働でビーコンによる位置情報通知サービスを行うことで、近隣地域の定住人口増加に寄与している。
事業の今後について	平成 31 年度は中心市街地に 5 台以上のビーコン受信機の設置を予定している。

⑫. 自転車駐車場整備事業（伊丹市）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～平成 30 年度【済】 〔認定基本計画：平成 28 年度～平成 29 年度〕
事業概要	円滑な通行空間確保に障害となる放置自転車の解消や、買い物客など来訪者の利便性の向上を図るため、自転車駐車場の整備を行い、歩行者優先空間の道路を再構築し、来街機会の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度はあらたに機械式自転車駐車場 1 箇所 255 台が運用開始され、円滑な通行空間が確保されたことで、近隣地域の定住人口増加に寄与している。
事業の今後について	計画されていた整備事業が完了した。

いて

⑬. 空き店舗リノベーション事業（伊丹まち未来㈱、民間事業者など）※再掲

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	空き店舗や空きフロアとして有効活用されていない低未利用部分を改修し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めるとともに、店舗以外の活用も鑑み、サードプレイスの創出や来街者の回遊性を向上し、商業集積と中心市街地の魅力向上による交流人口・定住人口の増加を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	地域まちなか商業活性化支援事業（地域商業自立促進事業）（経済産業省）（平成 30 年度） 地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金（中心市街地活性化支援事業）のうち調査事業、専門人材活用支援事業（経済産業省）（平成 31 年度～） 商店街活性化・観光消費創出事業（経済産業省）（平成 31 年度～）
事業効果及び進捗状況	民間事業者等による空き店舗リノベーション事業については、現在 1 件の実施に向けて、調査分析事業を行っているところである。
事業の今後について	中心市街地では空き店舗を使わない新規出店もあるため、既存の空き店舗の魅力を向上させる空き店舗リノベーション事業は空き店舗解消にも寄与するため、引き続き事業実施に向けて推進していく。

⑭. シティプロモーション事業（伊丹市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	「住みたいまち伊丹」や「清酒発祥の地伊丹」など、戦略的なシティプロモーションの強力で推進し「まちの魅力」を増進し、それを「戦略的・効果的」に発信、転入を促し、都市力を増進させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度は 9 月と 1 月にいたみキッズフェアを開催し、延べ 1,700 人の来場があった。また、PR 冊子を改訂し、10,000 部発行、配布し、まちの魅力を発信している。
事業の今後について	PR 冊子を改訂し、さらなる発信を進める。

⑮. まちなみ景観整備促進事業（伊丹市）

事業実施期間	昭和 59 年度～【実施中】
事業概要	景観条例に基づいた落ち着いたまちなみ景観を形成することにより、交流人口の増加及び来街者の回遊性の向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	景観法・景観条例に基づく届出を 21 件受理した。また、景観助成金の交付を 2 件行い、良好なまちなみ景観の形成を進めた。
事業の今後について	引続き景観法及び景観条例に基づき、まちなみ景観の形成を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成30年度に予定されていた施策は概ね実施することができ、目標の達成は可能と見込まれる。主要事業以外では「シティプロモーション事業」において、伊丹の魅力を PR する冊子の発行、子育て世代を対象とした「いたみキッズフェア」の開催、伊丹市シティプロモーションコンテンツ（VR）を活用した PR、人気料理漫画の主人公らが市内の名所や飲食店を巡る漫画を作成するなど各種 PR に取組んだ。主要事業の多くは完了している中、住宅関連事業については民間事業者による分譲マンション建設事業が今後も予定されている。今後も継続して「シティプロモーション事業」や「三世代同居・近居促進事業」、「民間賃貸住宅ストック活用事業」をはじめとした定住促進事業や総合的な取り組みを進め、中心市街地居住人口の増加を図っていく。